

令和7年度

事業報告説明書

公益財団法人 大阪認知症研究会

事業報告説明書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

1. 助成事業

○事業内容・趣旨：

◇医学研究助成・・・団体及び個人が実施している研究に対して積極的に助成することにより、研究の着実な成果を見だし、認知症の問題・課題の解決を図る。

◇海外派遣助成・・・海外の認知症研究者との研究交流をはかることによって、当該分野における研究レベルの向上を企図する。

○応募期間：

令和7年4月1日～同年5月15日（消印有効）

○応募資格：

認知症の研究にあたっている大阪府域の大学、研究所、医療機関、保健施設等に属している者。但し、弊財団で前年度に助成を受けられた方は応募不可。

○助成対象研究：

- (a) 認知症疾患の臨床的研究
 - (b) 認知症疾患の発症危険因子に関する研究
 - (c) 認知症疾患の病因に関する研究
 - (d) 認知症疾患の病態に関する研究
 - (e) 認知症疾患の方の介護、看護技術に関する研究
 - (f) 認知症疾患の方の地域ケア、処遇に関する研究
- ただし、臨床的研究に限ります。

○助成金予算：

◇医学研究助成・・・500万円（1件につき200万円を限度）

◇海外派遣助成・・・40万円（2件）

○応募・選考件数（金額）：※詳細は別紙に記載

令和7年6月5日、選考委員による選考の結果、助成対象6件を決定、同日理事会で承認。

	医学研究	海外派遣	合 計
予 算	500 万円	40 万円	540 万円
応募件数	15 件	1 件	16 件
選考件数（金額）	5 件（530 万円）	1 件（10 万円）	6 件（540 万円）

○助成金贈呈：

令和7年8月7日、助成金贈呈式を実施（於 千里阪急ホテル）

2. 普及啓発事業

(1) 認知症講演会開催

○開催日時：

令和7年12月21日（日）午後2時～4時30分

○実施場所：

千里ライフサイエンスセンター5階ライフホール

○対象者並びに参加費：

一般府民、参加費無料

○講演内容：

座長…金沢 徹文 氏（大阪医科薬科大学総合医学講座神経精神医学教室 教授）

講演1…「アルツハイマー病抗体治療の実際と最新情報」

大阪医科薬科大学内科学IV教室脳神経内科 教授 荒若 繁樹 氏

講演2…「大阪府における認知症施策の最前線」

大阪府福祉部高齢介護室介護支援課 課長 本木 和伸 氏

○当日参加人数：

221名（申込受付299名 ⇒ 参加率73.9%）

○本講演事業への寄付金：

製薬会社3社 合計170,000円

（日本イーライリリー、ヤンセンファーマ、ノバルティスファーマ）

以上

事業報告書の附属明細書

別紙1. 令和7年度助成金の贈呈者・金額・研究内容の詳細を別紙添付。

＜医学研究助成の部＞

所属機関 / 教室 / 学部 / 職名 申請者氏名 / フリガナ		研究課題	助成金額 (万円)
大阪公立大学	病因診断科学	タウオパチーにおける MAGL 阻害薬の神経炎症制御と病態進行抑制メカニズムの解明	200
医学研究科	講師		
上村 麻衣子	ウエムラ マイコ		
大阪公立大学大学院	神経精神医学	オンライン認知機能トレーニングによる認知症の早期発見および認知症予防に資する行動変容効果の研究	100
医学研究科	講師		
丸田 純平	マルタ ジ ユンペイ		
大阪市福祉局	地域包括ケア推進課	認知症の人と家族の QOL 向上と施策への意見反映に関する調査研究	80
高齢者施策部	課長		
永石 真知子	ナガイシ マチコ		
大阪大学大学院	精神医学教室	日本語版 Social Norms Questionnaire (SNQ-J) の作成および信頼性、妥当性の検証	90
医学系研究科	大学院生		
山本 諭希	ヤマモト ユウキ		
大阪河崎リハビリテーション大学	講師	実行系ネットワークの変容に着目した認知予備力の神経基盤の解明と、認知症予防への応用的意義	60
リハビリテーション学部			
白岩 圭悟			

＜海外派遣助成の部

所属機関 / 教室 / 学部 / 職名		研究課題	助成金額 (万円)
申請者氏名 / フリガナ			
大阪大学大学院	精神医学教室	19th International Conference of the Asian Society Against Dementia & International Conference of the Korean Dementia Association 2025 (ソウル)	10
医学系研究科	医員		
片上 繁樹	カタガミ シゲキ		